

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5) 36 (14)	取組として「接遇マナー」「人権擁護」「虐待防止」「身体拘束防止」等の研修を実施しているが、「虐待の芽チェック」を実施すると、「不適切なケアを見かける」「分かっているが、強い口調になる」等、ヒアリングが必要なケアスタッフが無くならない。	次回の「虐待防止」研修内で虐待の芽チェックリストによる、ヒアリング対象者を0人にする。	各スタッフが、始業前に申し送りノートに添付した「虐待」「身体拘束」について、自己確認し勤務に入る。勤務中、スタッフ間で「不適切ケア」があれば指摘し合い、気付きにする。終業時、適切であったか振返りを行う。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。